



市報 やまぐち

 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>

 koho@city.yamaguchi.lg.jp

雪舟への旅〜雪舟作品の楽しみ方〜 P.2
「山口市市民交通計画」の策定に向けて P.6

2006 **7.1**
July
No.18

あいお
「AIOキッズセーリング教室」
(6月18日)

「長巻」の見どころを解説

学芸員の
おすすめ!

学芸員の
おすすめ!

得意のモチーフ

雪舟はこの形の崖を描くのが大好きで、いろいろな所に出ています。この崖が出てくる時は、気合いが入っている証拠です。

雪舟の代表作から、その魅力を知りましょう!



県立美術館
在開津学芸員



「雪舟像」
(常栄寺蔵)



「四季山水図（山水長巻）部分」（毛利博物館蔵）

学芸員の
おすすめ!

ロバに乗り 山道を登る人

絵の中でどんな風に道が続いていくのか、考えてみると面白いですよ。絵の中の人物になった自分を想像してみるのもいいですね。

雪舟の絵はなぜすごい?

子ども（以下こ） 雪舟の水墨画がすごいといわれるのは、なぜですか?

在開津学芸員（以下え） 絵がうまいのはもちろんですが、さまざまな理由があります。いろいろな種類の絵を描けたことや、どんな新しいアイデアのある絵を描いたことなどです。

こ どんな種類のものですか?

え 山と河の風景を描く「山水画」や神様・仏様・人の姿を描く「人物画」、木・花・鳥などを描く「花鳥画」と、雪舟はどのジャンルでも立派な絵を描くことができました。

それに山水画という一つのジャンルの中でも、きちんとした画風のものからごく荒っぽい画風まで、描き分けることができたんです。熱心に絵の描き方を勉強したのはもちろんですが、アイデアが豊富だからいろいろなことに挑戦できたのでしょね。

その中には、きつとみなさんが好きになる絵もありますよ。

こ 雪舟の絵の中から、自分の好きな画風のものを見つけたらいいですね。

雪舟への旅 雪舟作品の楽しみ方

山口ゆかりの画聖 雪舟の没後500年に当たる今年、11月に開催される「国民文化祭・やまぐち2006」では、県立美術館の特別展覧会「雪舟への旅」をはじめとする雪舟関連の各種イベントが行われます。雪舟作品の楽しみ方について、山口の子どもたちが、県立美術館の在開津学芸員に尋ねました。





山口が世界に誇る画聖

雪舟の代表作「四季山水図」(山水)



作品を目にできる「国民文化祭・やまぐち2006」が楽しみね!

学芸員のおすすめ!

市場の風景

雪舟もこの場面は、楽しんで描いているようです。服にはどんな色が塗ってありますか? 女性はいますか? 子どもは? 一人ひとり、よく絵の中の人々を見てみてください。



学芸員のおすすめ!

真っ黒に塗った木

この木は、思い切り黒々と墨を塗ってあります。「この場面はこれで終わり」という目印のつもりだと思えば、なんだかドキッとしますね。

雪舟と山口

こ 雪舟は、山口にゆかりが深いと聞きました。

え そうなんです。雪舟はごく若いころを除き、ほとんどの活動を山口を中心に行っていたんですよ。当時山口を治めていた大内氏の応援で、水墨画の本場だった中国にも渡りました。帰国後は、「雲谷庵」というアトリエを拠点に、弟子たちと「山水長巻」など多くの代表作を描いています。

こ 山口の風景を描いた絵もあるので、何か?

え 例えば、山の形はどれも似ていますから、「この山」と決めるのは難しいですね。でも、雪舟の山水画の中に、山口の風景が描き込まれているという説も確かにあるんですよ。よく探してみれば、見つかるかもしれませんね。

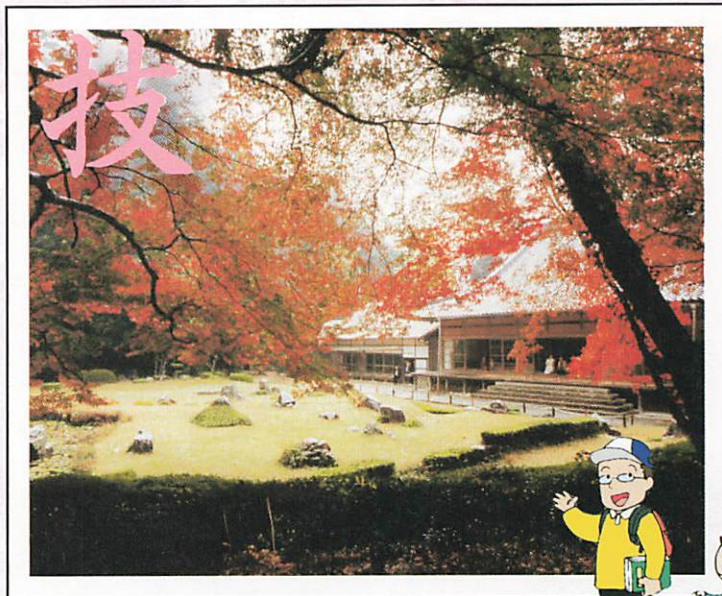
色あせない雪舟の魅力

こ 500年も前の雪舟の絵が、今でもとても人気があるのは、すごいことですね。

え 本当です。すごいことですよ。それは、人が素晴らしいと感じることが、500年前から変わっていないからなんですよ。

雪舟の優れた絵の中でも、「特にこれはすごい!」という作品がいくつかあります。今回の展覧会では、みなさんにそのすごさを間近で感じてもらえるはず。楽しみにしてくださいね。





常栄寺雪舟庭

雪舟が、大内氏29代政弘の依頼により、室町時代中頃に築庭したといわれる国指定史跡名勝。簡素にして豪放、まるで雪舟の絵のような庭は、四季を通じてその移り変わりを楽しめます。
(宮野下2001 ☎083-922-2272)

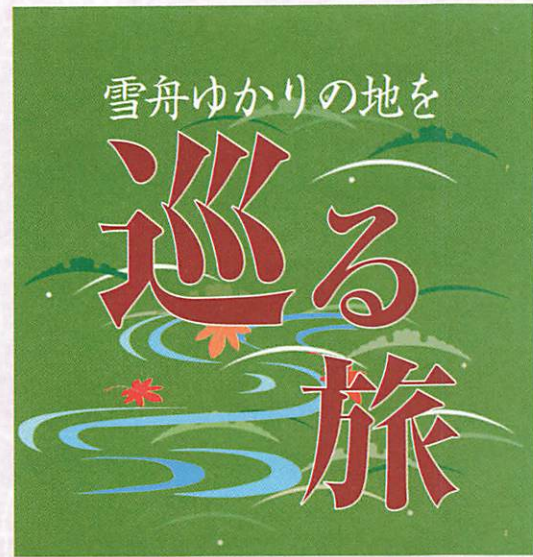
瑠璃光寺五重塔

室町幕府と戦い敗死した大内氏25代義弘を弔うため、弟の26代盛見もりはるが建立を計画し、1442(嘉吉2)年に完成しました。日本三名塔の一つに数えられ、国宝に指定されています。雪舟もその優美な姿を雲谷庵から毎日のように眺めたことでしょう。
(香山町7-1 ☎083-924-9139)



雲谷庵跡

大内氏の招きで山口に来た雪舟の居宅兼アトリエ跡。「山水長巻」などの代表作も描かれたといわれているここからは、瑠璃光寺五重塔を眺めることができます。現在の建物は、1884(明治17)年に復元されたものです。(天花一丁目12-10)
◇問い合わせ 市文化財保護課(☎083-920-4111)



私たちのまち山口には、雪舟のいたころの町並みがいまだに色濃く残されています。あなたも雪舟が惚れ込んだまち 山口の魅力を見つめ直す旅に、出掛けてみませんか？



もっと雪舟を知ろう!

国民文化祭 やまぐち 2006

11月3日(金・祝)~12日(日)



「やまぐち発 心ときめく 文化維新」をテーマに開催される「第21回国民文化祭・やまぐち2006」は、山口ゆかりの雪舟を身近に感じることでできるイベントが盛りだくさんです。ぜひこの機会に、「画聖」と呼ばれた雪舟の世界に触れてみませんか?



雪舟派展 I・II

I 7月23日(日)まで

II 7月25日(火)~8月20日(日)



雲谷等益 筆「鯉図」
(県立美術館蔵)

午前9時~午後7時 県立美術館(龜山町3-1 ☎083-925-7788)

一般190(160)円、学生120(100)円 ※カッコ内は20人以上の団体料金

雪舟の後継者としてその絵を学び、地方最大の流派として周防長門地域を中心に活躍してきた雲谷派。その祖 等顔から江戸時代前期までの雲谷派の画家たちの作品をご紹介します。

雪舟没後500年記念特別展覧会

雪舟への旅

11月1日(水)~30日(木)

午前9時~午後7時 県立美術館

一般1,300(1,100)円、学生1,100(900)円

雪舟の国宝指定作品6点すべてのほか、多くの重要文化財指定作品が出品される予定です。雪舟が、その画家人生のほとんどを過ごした山口で、彼の世界を間近にご堪能ください。



雪舟サミット

11月4日(土) 県教育会館

雪舟の業績を顕彰し、雪舟を通じて友好の輪を広げるため、雪舟ゆかりの5市1町が集い、基調講演、サミット会議を行います。

◇問い合わせ 市文化振興課(☎083-934-2717)

第21回国民文化祭・やまぐち2006 シンポジウム

雪舟と文化維新

◇問い合わせ 市国民文化祭推進室(☎083-934-2904)

シンポジウム 11月5日(日)午後1~4時 県教育会館

内館牧子氏(脚本家)による記念講演「日本のルネッサンスは山口から」、パネルディスカッション

「あなたも雪舟」絵手紙展 11月8日(水)~12日(日)

中市コミュニティホールNac(中市町3-18)

公募の墨絵等による絵手紙を展示。

絵と文字、絵のみの作品を一般、中学生、小学3年生以上の各部門で、9月8日(金)まで募集中。

雪舟ゆかりの地 探訪ツアー

雪舟ゆかりの地を巡るバスツアー。



雪舟没後
500年記念
関連事業

雪舟山並み風景探しコンテスト

「山水長巻」の中で、「ここが似てる」と思った山口市周辺の山並み風景を撮影し、ご応募ください。入選者には、オリジナル記念切手シートを贈呈。作品は11月7日(火)~12日(日)の間、Nacに展示。

◇応募 9月8日(金)までに、郵送またはEメールで、プリントまたはデータの写真を山口商工会議所フォトコンテスト係(〒753-0086中市町1-10 ☎083-925-2300) ☐ yc@yamacci.or.jp



雪舟の特集、いかがでしたか?
山口に深くゆかりがあるのに、なかなか知らないことが多い画聖に、少し触れてもらえただろうか。
雪舟没後五〇〇年の今年を機会に、「雪舟が居たまち山口」を広く全国に知ってもらい、訪れてもらえるように、みなさんの周りで話してみるのも、おもしろいかもかもしれませんよ。



市国民文化祭推進室だより

開催まであと
125日

11月3日(金・祝)～12日(日)にかけて、わが国最大の文化の祭典「国民文化祭」が県内各地で開催されます。現在山口市では、主催11事業の開催に向けて準備を進めています。

全国吟詠剣詩舞道オープニング曲完成! 幼稚園児200人が大合吟します

11月5日(日)に市民会館で開催される「全国吟詠剣詩舞道祭」で、幼稚園児200人により披露されるオープニング曲が完成しました。曲の題は、「るり色のメッセージ」です。「るり色」という言葉は、山口の自然や歴史、文化、人と風土が一緒になり、きらきらと輝くふるさを表現しています。また、曲には、山口の生んだ偉人 中原中也・金子みすゞ・吉田松陰の思いを表現したメッセージもあり、感動的な曲に仕上がっています。

作詞は野村忠司さん、作曲は田村優子さん、振り付けは藤間利紫津さんです。本番では、すてきなオープニングをみなさんにお届けできるように、園児たちは、これから一生懸命練習を重ねていきます。



昨年のプレイベントでの幼稚園児による合吟の様子



観て・やって・感じて・楽しい ジャグリング体験&ワークショップ

11月4日(土)、5日(日)の演劇祭の中で行われる「ジャグリングショー」に出演しませんか? 市国民文化祭推進室では、一緒にステージを盛り上げてくれる方を募集しています。

回	日	時	内 容
※1	7月22日(土) 7月29日(土)	午前10時 ～午後3時	体験・道具づくり
2	8月12日(土)		ワークショップ
3	8月26日(土)	午前10時 ～正午	
4	9月16日(土)	または	
5	9月30日(土)	午後2～4時	
6	10月7日(土)	のいずれか	
7	10月28日(土)		

※第1回は、2日間のうち都合の良い日を選んでご参加ください。

開催場所 中央公園または山口情報芸術センター
対 象 7～10月の練習に参加できる方
 ※未就学児は保護者同伴のこと
定 員 100人程度
参加費 500円(材料費)
応募方法 7月19日(水・必着)までに、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかに〒住所、氏名、年齢、性別、電話番号、小学生以下は保護者氏名を明記の上、市国民文化祭推進室

ジャグリングの楽しさをお伝えします!



市広報番組「ごっほうええのお〜」より(15ページ参照)

国民文化祭
これな〜んだ?

国民文化祭を100倍楽しむ豆知識を紹介します!

ジャグリング(JUGGLING)とは?

言葉本来の意味は、「物体を次々に投げ上げる曲芸」です。ジャグリングの歴史は非常に古く、3,000年前のエジプトの壁画にもジャグリングをする女性の絵が描かれているほどです。現在では、さまざまな道具を器用に操ることをまとめて「ジャグリング」と呼んでいます。1999年から日本ジャグリング協会が、日本最大のジャグリングイベント「ジャパン ジャグリング フェスティバル」を毎年、開催しています。

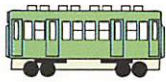
集中力と根気が必要とされ、精神力が鍛えられるジャグリングは、多くの国で教育に取り入れられています。あなたも挑戦してみませんか?

各申込用紙・要項は市役所受付、市国民文化祭推進室またはホームページからどうぞ。【携帯電話版ホームページ】

■問い合わせ 市国民文化祭推進室(亀山町2-1 ☎083-934-2892・2904
 FAX083-934-2670 ✉kokubun@city.yamaguchi.lg.jp
 ☞ <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/kokubun/>)

☞ <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/kokubun/m/>
 QRコード対応携帯電話をお持ちの方はこちら





「山口市交通まちづくり委員会」は、「市民交通計画」の策定に当たり、生活交通を維持し、また確保するための具体的な方策について検討することを目的に設置され、学識経験者、交通事業者、公募による市民など15人の委員で構成されています。委員会は今後6回程度開催され、検討結果を市長に報告する予定です。


23日の会議では、事務局から「市民交通計画策定方針」等についての説明や、大阪外国語大学教授の森栗委員から、自らが関わった住民主導型のバス「神戸市住吉台くるくるバス」の運行について、事例紹介が行われました。「「老後も孫子の代までも安心して暮らせるまちにした」との住民の思いが、交通事業者、病院や商店、行政を動かし、市民のための交通を住民自らが作り上げた。バスが走ってまちが変わった」と語りました。

交通まちづくり委員会では生活交通の具体策を検討

さまざまな立場・視点からの意見が挙げられました

「山口市市民交通計画」の策定に向けて

第1回「山口市交通まちづくり委員会」報告



「市民だれもが移動しやすいまちづくり」を目指し、その実現に向けた方策を明らかにする「山口市市民交通計画」の策定が始まりました。5月23日には、第1回「山口市交通まちづくり委員会」が山口総合支所で開かれ、さまざまな立場・視点から意見が交わされました。

■問い合わせ 市都市計画課交通政策室(☎083-934-2729)

当日の意見は、次の通りです(一部抜粋)。

- 行政、事業者、利用者のどこか一部に負担が偏るのでは、続いていけない。
- 高齢化社会の到来に向けて、利用の促進を図り採算を維持しながら、持続可能な交通システムを作らねばならない。
- 官による民業の圧迫であるコミュニティバスは、廃止すべきである。
- 山口市の公共交通は、使っている人には分かってても、たまに使っ人や観光客には路線・バス停などが分かりにくいので、改善が必要。

■第2回委員会のお知らせ

委員会の傍聴は自由です。山口市のまちづくりを交通の視点から、一緒に考えてみませんか。

◇日時/場所 7月25日(火)午後2時から
／山口総合支所第10・11会議室(3階)



市民委員に「山口市の交通に対する思い」をお聞きしました



平田共次委員

通勤に公共交通を利用しています。今後の高齢化社会に対応して、公共交通は最低でも現時点の水準は維持すべきで、交通弱者が増えることを考えれば、少しずつでも充実させていくべきだと思います。

バスだけでなくタクシー、鉄道などの相乗効果により乗車率は上がると思

います。例えば、バス停から離れた人も利用しやすくなるよう、バス停付近に駐輪場を整備するなどの工夫が、もっと必要だと思います。このような工夫による乗車率の向上については、他のサービスに比べて、大きな投資をしなくても、サービスの拡充ができるのではないのでしょうか。

車を持たずに生活できる世の中が、理想です。

とそれ以外の地域では、公共交通の整備の方向性は異なるため、両者を区別して議論する必要があると思います。

自動車は確かに便利で、生活に欠くことができませんが、自動車が依存したまちづくりは、決して好ましくありません。将来の山口市を考



松永和生委員

主に鉄道を利用してありますが、乗り換え時の接続の悪さを痛感します。また、時間の面だけでなく、新山口駅などでは、乗り継ぎのために階段を上り降りする不便も感じています。この点が改善されると、利用者増につながると思

います。

交通計画については、市内でも市街地

す。ちょっとした会話やふれあいから元気がもたえます。

公共交通は、利用することで私たちが育て、守ることが出来ます。どのように暮らしたいのか、どのようなまちにしたいのかのポイントです。交通計画は、高齢化・少子化を見据えてみんなが利用しやすくなるよう、そして住民間の公平さ等にも配慮して、柔軟に考えていきたいものです。



吉富崇子委員

人は高齢になると、外出することを控えるようになりがちです。また、単身で暮らす人も増えていきます。元気で豊かに暮らすためには、外に出て人と触れあうことが大切です。交通機関が整備されていると、気軽に出かけられます。利用するバスや電車の中は、小さな社会で、いろいろな世代の人がいま

「利用が育てる公共交通」

「公共交通の整備にもっと関心を」

「公共交通充実に向けての工夫を」

市政トピックス

新「山口市」誕生記念式典を開催しました

5月30日、新「山口市」誕生記念式典を市民会館大ホールで開催し、1300人近い来場者で賑わいました。

式典では、合併した新しい「山口市」の誕生を改めて祝うとともに、新市への合併に貢献した旧1市4町の首長と議長が、市町村合併功労者総務大臣表彰を受けました。また、市章や市民歌、市の花・木・花木を発表しました(市報6月1日号参照)。

中庭では、市内各地域で採れるさまざまな食材を使った山口の名物料理「しつちよる鍋」300食分が振る舞われ、旬の味覚に、参加者は舌鼓を打ちました。

展示ホールでは「笑顔の写真展」が行われ、式典中、最優秀賞・優秀賞に選ばれた3作品の発表と表彰が行われました。最



新「山口市」誕生記念式典の様子



「笑顔の写真展」最優秀賞 金子美佐さんの作品

優秀賞に選ばれた金子美佐さん(秋穂東)の作品は、子どもたちの自然体の笑顔と美しい秋穂地域の景色が、高い評価を受けました。

式典終了後には、アトラクションとして、市内出身のシンガーソングライター「ちひろ」さんのライブステージ「ふるさと」の風2006」が行われ、この度市民歌に選ばれた「ふるさと」の風〜山口市民の歌〜を大殿小学校児童合唱団と一緒に披露しました。この市民歌は、「山口市民テーマソング制作委員会」が旧1市4町の住民から歌詞を公募し、「ちひろ」さんが作曲し、完成したものです。

「移動市長室」を開催しました

5月23日から6月1日の期間中、2回目となる「移動市長室」を開催し、多くの市民のみなさんご参加をいただきました。

移動市長室は、市民本位のきめ細やかな行政サービスを提供するため、市長が直接、市民のみなさんとの対話の中から市政に対するご意見やご質問を伺うものです。

今回は、昨年度実施した4地域に山口地域北部を加えた、市内各地域の総合支所や公民館など5会場で開催しました。

寄せられた貴重なご意見は、今後の市政運営に反映させていくとともに、まちづくりに関する提案については、来年度策定予定の「山口市総合計画」に反映させていただきます。



市民歌を披露する「ちひろ」と大殿小学校児童合唱団

本式典で発表された市章や市の花「菜の花」、市の木「イチヨウ」、市の花木「サクラ」の選考理由、市民歌「ふるさと」の風〜山口市民の歌〜の楽譜や音楽は、市ホームページでもご確認いただけます。
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/daboutyamaguchi/gaiyou/etc.htm>
 山口総合支所総務課
 (☎083・934・2908)

次回の移動市長室は、8月に開催する予定です。



阿知須総合支所で行われた移動市長室の様子

市広報広聴課

(☎083・934・2753)



「山口国体」市準備委員会設立発起人会が開催されました

平成23年に県内で開催される「第66回国民体育大会」に向けて、山口市において準備委員会を設立するための発起人会（代表 渡辺市長）が、6月5日、山口総合支所で開催されました。発起人会では準備委員会の設立や、学識経験者・関係競技団体の代表者などを含む146人の役員・委員案などが承認されました。

国民体育大会は、国内最大のスポーツの祭典として、スポーツの振興のみならず、スポーツを通じた豊かな暮らしづくりや地域づくりにも大きな役割を果たしています。

今後は、9月1日に予定されている準備委員会の設立総会・第1回総会の開催

に向けて、準備が進められます。



発起人会の様子

山口市国民体育大会準備室
☎083・934・2927

（株）佐々木冷菓 山口テクノ第2団地へ進出

冷菓・冷凍食品卸売業の（株）佐々木冷菓（本社 長崎県佐世保市）が、山口テクノ第2団地（佐山）に進出することが決定し、5月31日、山口総合支所において進出協定の調印式が行われました。

席上で、佐々木冷菓の佐々木繁副社長は、「地元の方の雇用にも努めるなど、地域社会に貢献したい」と抱負を語りました。

進出地に設置される営業所には、最終的に25人の雇用が見込まれており、12月から操業が開始される予定です。

今回の進出で、山口テクノ第2団地に進出した企業は6社、分譲率は54パーセントとなりました。



調印後に握手を交わす（左から）吉田助役、県土地開発公社 中崎理事長、県商工労働部 森審議監、佐々木副社長

山口市商工振興課
☎083・934・2812

市政ココが知りたい！

市民のみなさんから多く寄せられたご質問に、お答えします。

国民年金の受給額を増やしたい

国民年金に加入しています。将来を考えて、国民年金の受給額を増やすことはできますか。

自営業や農林水産業者、学生、無職の方など、第1号被保険者の方を対象とした「付加年金」という制度があります。

この制度を利用すると、定額の月額保険料に付加年金の保険料として月額400円を上乗せして納めることで、65歳から支給される老齢基礎年金に付加給付を上乗せして受給できます。

上乗せされる付加年金額はいくらですか。

付加年金は、納付月数に200円を掛けたものが年額となります。この受給額は、定額制となっており、物価の動きにより受給額を見直す物価スライドによる増額・減額はありませぬ。

$$\text{付加年金の受給額(年額)} = 200\text{円} \times \text{付加保険料を納付した月数}$$

だれでも利用できますか。

保険料の免除を受けている方、国民年金基金に加入している方は利用できません。被扶養者などの第3号被保険者の方も利用できません。

そのほかにも受給額を増やす方法があれば、教えてください。

国民年金への未加入期間や未納期間、保険料免除期間、学生納付特例期間など、保険料を支払っていない期間がある方は、老齢基礎年金を満額受給することができません。

そのような方は、未納期間については2年以内、免除期間・学生特例期間などについては10年以内であれば、追納して受給額を満額に近付けることができます。また、厚生年金などの加入者でなければ、60歳以降も任意加入し保険料を納付することで、満額に近付けることができます。

■申請・問い合わせ
市保険年金課（☎083-934-2802）、または各総合支所市民課
※申請は、各出張所・支所でも受け付けます。



びまちづくり No.8

めざすまちスタイル みんなが助け合えるまち



うめもと

梅本 八郎さん
(佐山地区在住)

佐山地区新地開作のほ場整備事業を機に営農組織の立ち上げにかかわり、現在は「(有)佐山ファーム」代表取締役の梅本八郎さん。農業を守ること、地域の人のつながりも守りたいと考えています。梅本さんの農業や地域への思いをお聞きしました。

■営農組織の立ち上げにかかわったきっかけは？
定年退職するまで兼業農家として農業に携わり、個人の農家にとって厳しい状況を感じていました。農家の高齢化

も進み、放置された農地も増えてきています。「この状況を地域の農家で協力し合ってなんとかしたい」と考えたことがきっかけです。助け合って農業を守ることが、地域を

守ることにつながると思いま
す。ほ場整備事業に併せて準備を進め、定年退職を機に本格的に取り組み、昨年7月に私を含む経営的に自立した農業を目指す認定農業者3人が中心となって「(有)佐山ファーム」を設立しました。

「佐山ファーム」の仕組みを教えてください。

佐山ファームは地域農業の担い手として、地域の農家のみなさんの農地をまとめて管理し、水稻をはじめ、はなっこりーや玉ねぎを作付けし出荷しています。その栽培の過程で、地域の農家の方にはできる時にできる作業に参加してもらい、その労働に対して賃金を支払います。地域の大地や人材を有効に活用して、利益・恵み・豊かさを生み出したいと思っています。

「取り組んできた感想を教えてください。」

新地開作には100軒以上の農家があり、初めはその意見を取りまとめることが大変でした。でも、だれか一人の力でできることではなく、みんなの協力のおかげで営農組織がスタートして1年が経ち、今こそ踏ん張りどころだと思っています。とてもやりがい

がありますよ。また作業のたびにみなさんが出てきてくれてうれしいです。この協力の気持ち大切にしたいですね。農業は、丁寧に熱心に取り組みればそれが作物に表れるのでおもしろいです。せっかく良い田んぼがあるので、良いものを作っていきたいと思っています。

「これからの目標は？」

次の世代にきちんとバトンタッチができるよう後継者を育て、これから5年くらいで組織をしっかりさせたいと思っています。経営も安定させ、佐山地区全体が連携できる仕組みを作りたいですね。そのため、私もあと10年くらいは現役として頑張っていきたいです。農業は生命を育む大事な仕事ですし、農業で地域の連帯感が強まると感じます。そんな農業を今後も大切に守っていきたいと思っています。



まち再発見 行ってみてん来てみてん

山口市の知られざる魅力をご紹介します!

佐山地区



■年間行事

- ・佐山地区ふれあい大運動会 (9月)
- ・須川の山固め神事 (12月)

佐山地区は周防大橋を挟んで秋穂二島地区と接しています。農業が盛んな地区ですが、企業団地を併せ持ち大きな公園もあるなど、さまざまな顔を持っています。高齢者生きがいセンター「佐山ふれあい館」は、地域の有志が常駐し、安心して利用できる施設で、高齢者のサークル活動が活発です。小学校と合同で開催する地区の運動会は、子どもからお年寄りまで幅広い世代で楽しめます。同地区須川の「山固め神事」は、古くから伝わる害虫・獣、災害を封じ込める祭事で、今も地域の人々によって大切に受け継がれています。

藤尾山公園(周防大橋近く)、河原谷公園(山口テクノパーク内)は、楽しい遊具がある公園です。

やまぐち生活がぶち楽しくなる情報をお待ちしています。ボランティア取材スタッフ募集中!

企画
編集

市民まちづくり情報センター

やこねっと

info@ycnet.jp

083-934-2753

083-934-2643

市広報広聴課(付)



あし かい 葦の会

連絡先 県立きらら浜自然観察公園
TEL 0836-66-2030

代表者 ながの かずよ
永野 和代



自然や環境について、メンバー同士で教え合い学び合っています。かわいい鳥を眺めてゆったりとしたり、新しい発見があったり、楽しく活動していますよ。自然が大好きという方は、ぜひご参加ください。公園にも遊びに来てくださいね。

平成16年から、県立きらら浜自然観察公園で活動しているボランティアグループです。グループ内にチームを設け、来園者への対応、子ども向けミニプログラムの企画、機関紙の発行、環境サポートなど、各自が得意な分野で活動しています。また、自然とかかわる上での知識や技能を高めようと、研究グループでの学習会を行っています。「公園の自然を楽しむことを通して自然の大切さを感じてもらい、環境保全に取り組むきっかけにしてほしい」と願いながら「おもてなしの心」で活動に取り組んでいます。今後は、公園で見られる鳥や植物・昆虫のライフサイクルをまとめたり、環境教育プログラムを作成して、施設外でも子どもを対象とした活動に力を注ぎたいと思っています。「自分も自然のピースの一つ」そんな気持ちで、これからも自然に溶け込み大切にする心を育む活動が続きます。



主な活動内容

- ・鳥・植物・昆虫研究グループ学習会(毎月回)
- ・子ども向けクイズ、紙芝居などの実施
- ・機関紙の発行
- ・公園内の環境整備・改善の支援、行事への協力

7月2日(日)午後1時30分から
環境教育プログラム発表会

土・日には、学習会や環境整備、ミニプログラムを行っています。興味のある方はぜひお問い合わせください。



「まちぐる」とは、まちで活躍する
市民活動グループのことで、やこねっとの造語。
みなさんも「まちぐる」のグルになってみませんか？



秋穂国際交流サークル

連絡先 TEL 083-984-3359
(山本様方)

代表者 やまもと さちよ
山本 幸代



いろいろな国の人との出会いは、とても楽しく貴重な経験です。外国の方にも、秋穂の良いところを知って楽しんでほしいですね。言葉が通じなくても、ボディランゲージで大丈夫！一緒に楽しみたい方、他の国際交流団体の方、ぜひ楽しく交流しましょう。

秋穂中学校に配属されたAET(英語指導助手)と交流を始めたことをきっかけに、いろいろな国の人と触れ合おうと、14年前から県の国際交流員や山口大学の留学生などを招いての交流会や国際交流イベントなどを行っています。当初は習慣や考え方の違いに戸惑うこともありましたが、今では各国の人が持つさまざまな感覚にも慣れてきました。毎年5月の串山遊歩道のハイキング、8月の「えび狩り世界選手権大会」への参加、11月の「あいお祭り」では世界の料理の試食販売など、恒例の行事も増えています。これまでの交流で理解を深めてきたことを生かして「これからは国際協力にも取り組みたい」と積極的です。国同士の関係や問題を乗り越えられるような人間同士のふれあいを目指して、温かい交流活動を楽しんでいます。



主な活動内容

- ・定例会
- ・「えび狩り世界選手権大会」への参加(8月)
- ・「あいお祭り」への参加(11月)

毎月2回、交流の企画やイベントの準備などを行う定例会を行っています。お気軽にご参加ください。
第1・3火曜日 午後7時30分から 秋穂中学校校体育館

さぼらんで情報

“伝える力”サポート講座 文章の書き方
日時 7月15日(土) 午後1時30分～3時30分
講師 野稻絵美さん(サンデー山口編集局長)

先着15人

団体の広報誌づくりなどで「伝えたいことがうまく表現できない」という経験はありませんか？活動をアピールするコツや情報発信のルールなどを学んで、あなたの感性を生かした“伝える力”を磨きましょう！

お気軽講座 ひとりでゆかたが着れちゃった！

日時 7月13日(木) 午後1時30分～3時30分
講師 岡藤 恵さん

先着10人 今年こそ浴衣を着て、山口の祭りを盛り上げましょう。

※場所はいずれもさぼらんでです。
※託児などサポートが必要な方は、お申し出ください。

お知らせ

水道メーターの設置場所の調査にご協力を

水道局では、利用者の利便性および業務効率の向上のため、道路内の水道管から各家庭内の水道メーターまでの配管図面を年次的に整備しています。今年度は、秋穂二島地区の一部および阿知須地域の各家庭や事業所へ水道メーター、止水栓等の設置場所の確認に伺います。

調査に当たっては、水道局職員および市水道局から委託された調査員が、身分証明証を携帯して伺いますので、ご協力をお願いします。

水道局北部事業所工務課 (☎0833-9333・66679)

「アナログ放送中止」のハガキにご注意ください

最近、「日本放送波管理局」という架空の機関名を騙る「アナログ放送中止のお知らせ」というハガキが届く事例が発生しています。「本年夏以降、テレビのアナログ放送を見ることができなくなるので、

受信工事についてご相談ください」という内容です。連絡をすると、相手に電話番号等の個人情報を見せてしまったり、不当な請求をされたりする恐れがありますので、絶対に電話をかけないでください。

アナログ放送は、平成23年7月24日まで視聴可能です。また、地上波デジタル放送視聴のための工事は、お近くの信頼できる電気店等にご相談ください。

このようなハガキが届いた場合は、次の相談窓口にご相談ください。

市地域生活課 (☎0833-9334・2764)

起業化支援セミナーに参加しませんか

事業を営んでいる方や起業に関心がある方を対象に、起業や事業に役立つテーマについて、地元起業家の体験談の聴講と、専門家による基礎学習会を行います。お気軽に参加ください。

期日	内容	テーマ
8月5日(土)	体験談学習交流会	「人脈づくりとビジネスマナー」
10月7日(土)	交流会	「営業ノウハウ」

山口総合支所	〒753・86650	龜山町2-1	0833-9222-4111
小郡総合支所	〒754・8511	小郡下郷609-1	0833-9732-2411
秋穂総合支所	〒754・1192	秋穂東6570	0833-9842-2121
阿知須総合支所	〒754・1292	阿知須2743	0836-654111
徳地総合支所	〒747・0292	徳地堀1744	0835-521112

ご存知ですか? 便利な「ごみ出しメール」

地区ごとのごみ収集日を携帯電話やパソコンに、収集日前日の午後から夜間にかけて、Eメールでお知らせします。携帯電話とパソコンのいずれからでも登録できます。携帯電話の場合は、メール着信拒否の設定を解除してください。

送信するごみの種類

- ① 不燃：金属類・ガラス類・陶器類・ゴム・合皮類・灰・小型家電製品(家電4品目を除く、食品系以外のプラスチック)
- ② 古紙・ペット：ペットボトル、新聞、雑誌、ダンボール、紙製容器包装、紙パック③缶・瓶

情報料 無料(登録・Eメール受信時の通信費用は、別途実費)

登録アドレス
パソコン：http://www.ycnet.jp/
携帯電話：http://www.ycnet.jp/

ycnet.jp/gominmail/
※下記QRコードもご利用ください。



市民まちづくり情報センターやこね
info@ycnet.jp

排水設備工事 責任技術者更新講習

日時 9月8日(金) 午前9時30分～

正午(受け付けは午前9時から)

場所 県セミナーパーク(秋穂二島1060)

対象 平成7年、10年、13年に資格を取得した排水設備工事責任技術者

期間 7月3日(月)～18日(火)の間

に、所定の申込書で市下水道管理課(山口総合支所2階 ☎0833-9334・2764)

山口地域の まちづくり審議会委員を 募集します

みんなで一緒に！
「やまぐちづくり」



市では、これからのまちづくりのあり方について、それぞれの地域のみなさんが話し合い、その内容を市に意見として述べる場として、各地域ごとに「まちづくり審議会」を設置します。審議会において出された意見は市の施策に反映し、市民と行政の協働によるまちづくりを進めます。あなたも地域づくりに参加してみませんか。

- ◇応募資格 山口地域在住の満18歳以上(高校生を除く)の方
- ◇募集人数 若干名
- ◇委員任期 2年間(ただし、今回の募集委員については平成20年3月31日まで)
- ◇審議会 任期中に10回程度の開催を予定
- ◇応募・問い合わせ

7月18日(火・必着)までに、直接または郵便、FAX、Eメールのいずれかに〒住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記の上、「地域のまちづくりについて」をテーマにした作文(800字以内)を添えて市企画経営課(山口総合支所2階☎083-934-2728☎083-934-2642
✉kikaku@city.yamaguchi.lg.jp)

※まちづくり審議会の詳細については、市報6月1日号5ページまたは市ホームページ(表紙参照)をご覧ください。

史跡大内氏館跡発掘 調査現地説明会

市では、史跡大内氏館跡の復元整備に伴い、発掘調査を行っています。昨年度の第28・30次調査では、戦国時代の蔵の跡や、台所の一部とみられるカマド跡、池泉庭園へ水を注ぐ石組水路のほか、魚の骨などの食べかすが、宴会用の土器とともに見つかりました。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

- 日時 7月8日(土) 午後1～3時
- ※雨天時は9日(日)に順延
- 場所 大殿大路(大殿公民館北)
- ※駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市文化財保護課 (☎083・920・4111)

三和児童館夏まつりで 一緒に遊ぼう！



- 日時 7月29日(土) 午前10時～午後2時30分
- 場所 ふしの会館(三和町3・3)
- 内容 おたのしみステージ、ゲーム、工作、屋台など
- ※屋台の利用には、食券が必要です。7月20日(木)まで一枚200円で販売(先着200人、小学6年生まで)

申問 三和児童館(ふしの会館内) ☎083・922・7055

「道路ふれあい月間」 清掃ボランティア募集

8月は、道路の大切さを考える「道路ふれあい月間」です。期間中に実施される道路清掃活動に参加するボランティアの方を募集しています。

- 日時 8月19日(土) 午前8～10時
- (集合時間は午前7時50分)
- ※雨天中止(中止の場合は、当日の早朝までに連絡します)

- 集合場所 亀山公園ふれあい広場(中河原町)
- 内容 パークロード付近の道路のごみ拾い、花壇や植え込みなどの草刈り
- 持参品 火ばさみ、ほうき、草取り用具(用意できる方のみ)

申問 7月28日(金)までに、電話で県道路整備課(☎083・933・3680)

毎月勤労統計調査 特別調査について

厚生労働省と県では、常用労働者数1～4人の事業所を対象に、給与・労働時間・雇用などの調査を実施します。

7月中旬から下旬にかけて、県知事が任命した調査員が、調査対象地区内の事業所へ伺いますので、ご協力をお願いします。

- 調査対象地区(次の地区の一部)
- 大手町、江崎、小郡上郷、小郡下郷

県統計分析課 (☎083・933・2654)

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です ～ふれあいと対話が築く 明るい社会～



【重点目標】犯罪・非行の防止と更生の援助のため、地域住民の理解と参加を求める

「社会を明るくする運動」とは、犯罪や非行を防止し、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

強調月間中、市内では、街頭啓発や募金活動などが行われます。みなさんのご理解とご協力、ご参加をお願いします。

- 問い合わせ 市社会課 (☎083-934-2790)、各総合支所健康福祉課▽小郡 (☎083-973-8143) ▽秋穂 (☎083-984-8023) ▽阿知須 (☎0836-65-4114) ▽徳地 (☎0835-52-1121)

■各地域の啓発活動など

日	時	内容(場所)
7月3日(月)	午前7時～	街頭啓発(新山口駅北口ほか)
	午前10時30分～	街頭啓発(サンパークあじす<阿知須4825-1>)
	午後1時30分～	街頭啓発パレード(亀山公園～中心商店街)
7月4日(火)	午前9時～	広報車キャンペーン(徳地地区)
7月11日(火)	午後1時30分～	社会を明るくする運動 徳地地区推進大会(市徳地山村開発センター<徳地堀1533>)
7月15日(土)	午後7時～	社会を明るくする運動・青少年健全育成秋穂地区大会(市大海総合センター<秋穂東1130-5>)

男女共同参画についての川柳を募集します

市では、だれもが性別に関わらず尊重され、個性や能力を発揮して社会を支えていく「男女共同参画社会」の実現に取り組んでいます。その一環として、市民のみなさんが、ふだんの生活の中で「男女共同参画」について思ったこと、感じたことをつづった川柳を募集します。

※一人何点でも応募可（未発表作品のみ）
副賞 優秀賞受賞者および選外の方の中から抽選で各5人に図書カードを贈呈
 ※優秀賞5作品は、男女共同参画情報誌「Live」に掲載します。また、応募作品は市ホームページに掲載し、山口総合支所1階ホール等に掲示します。

申請 7月20日（木・必着）までに、郵送、FAX、Eメールのいずれかに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、作品公表時の氏名掲載の可否を明記の上、市人権推進課（山口総合支所 ☎083-984-28097
 jinken@city.yamaguchi.jp）

認知症者の介護をしている方へ

認知症者を支える家族の会「やすらぎの会」で、日ごろ抱えている悩みやストレスを思い切り話してみませんか。初めて参加する方は、事前にご連絡ください。
日時 奇数月の第4木曜日 午前9時30分～11時

分～11時

場所 山口市社会福祉協議会徳地支部「あつたかプラザ」(徳地堀1684・1)
対象 認知症者を介護している方
申請 市徳地保健センター（☎0835・52・1114）、山口市社会福祉協議会徳地支部（☎0835・52・0100）

麻しん・風しんの予防接種が変わりました

4月1日の改正で2回接種制度が導入されましたが、6月2日の改正により接種ワクチンと対象者が一部見直されました。

■接種歴・罹患歴別の接種が必要となるワクチン

接種時期	麻しん・風しんワクチン未接種	麻しんワクチン未接種		風しんワクチン未接種		麻しん・風しんワクチン接種済(2期目未接種の方)
		麻しんワクチン接種済み	風しん罹患済み	麻しんワクチン接種済み	麻しん罹患済み	
1歳以上2歳未満(1期)	混合ワクチンまたは麻しんワクチンおよび風しんワクチン	麻しんワクチン		風しんワクチン		—
5歳以上7歳未満(2期)*	麻しんワクチンおよび風しんワクチン	混合ワクチンまたは麻しんワクチンおよび風しんワクチン	麻しんワクチン	混合ワクチンまたは麻しんワクチンおよび風しんワクチン	風しんワクチン	混合ワクチンまたは麻しんワクチンおよび風しんワクチン

*小学校就学前の1年間(いわゆる年長児)が対象となります。6月2日時点で2期に該当する方には、郵送でご案内を送付しています。

第28回 ふしの夏まつり

7月22日(土) 午後4時30分から
 榎野川東津河川公園(小郡下郷)

「ふるさと心はひとつ」をテーマに繰り広げられる、市民による総踊りや真夏の夜空を彩る約3,000発の花火など、多彩なイベントをお楽しみください。

【イベント】

総踊り、ふしの岩戸太鼓、よさこい踊り、ひょっとこ踊り、小郡音頭、ふしの踊り、石ヶ坪音頭、管弦祭、バンド演奏、ゴスペル、バザーなど

【花火大会】 午後8時から

※雨天時は、花火大会のみ翌23日(日)午後8時～8時50分に順延し、バザー以外のイベントは中止します。実施の決定は、当日午後4時に「のろし」でお知らせします。
 ※会場付近には、駐車場がありません。車でのご来場は、ご遠慮ください。



■問い合わせ 小郡総合支所経済課(☎083-973-8157)

献血推進キャンペーンを実施します

7月は「愛の献血助け合い運動」強調月間です。この機会に、献血について一緒に考え、行動してみませんか。ご協力いただいた方には、記念品を進呈します。

日時 7月9日(日) 午前9時30分～午後4時30分(受け付けは午後4時まで)
場所 ゆめタウン山口(大内御堀1302・1)

内容 200・400ミリリットル全血献血
市保健センター(☎083・921・2669)

さしすせそクッキング 「あなたの食事は大丈夫？」

自分の食習慣や食事をチェックしてみませんか。生活習慣病予防のために、バランスの取れた食事について一緒に勉強しましょう。



日時 7月21日(金) 午前9時30分～午後1時
対象 市民30人(先着順)

内容 講義、調理実習
受講料 300円
持参品 エプロン、三角巾、筆記用具

所申請 7月3日(月)～14日(金)の間に、電話で市小郡保健福祉センター(小郡下郷609・5 ☎083・973・8147)

小冊子「わが家の国保」の訂正

平成18年度国民健康保険料納入通知書(6月15日発送)に同封の小冊子「わが家の国保」について、下記の通り訂正します。
7ページ ※1中 【誤】124万円以上の方 → 【正】145万円以上の方



**広げよう 友情の輪
「ワイワイ交流会」参加者募集!**

山口市・防府市・美東町・秋芳町・阿東町で構成する山口・防府地区広域事務組合の主催で、児童・生徒を対象とした「ワイワイ交流会」を開催します。「あじす葡萄の森」で、楽しい「ネイチャーゲーム」を体験しませんか?
ネイチャーゲームって?

あらゆる感覚を使って自然を直接体験し、自然への共感^{はぐく}を育む活動です。直接的な自然体験を通して、自分を自然の一部^{とら}と捉え、生きることの喜びを共有します。



期 日	8月9日(水)、10日(木) (1泊2日、テント泊)
場 所	あじす葡萄の森 (阿知須2423-127)
集合時間等	午前8時40分…徳地総合支所 午前9時10分…市民会館前 (中央二丁目5-1) 午前9時20分…山口南総合センター(名田島1218-1) 午前9時35分…小郡総合支所および秋穂総合支所 午前9時50分…阿知須総合支所 ※会場までバスで送迎します。
対 象	山口・防府圏域の小学4年生～中学3年生で、山口市からは30人(応募者多数の場合は抽選)
参 加 費	1,000円(傷害保険料含む)
申し込み・問い合わせ	7月14日(金・必着)までに、ハガキにて住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、学校名、学年、保護者氏名、希望集合場所を明記の上、市企画経営課(山口総合支所 ☎083-934-2728)

インストラクターの指導のもと、親子で楽しく体を動かしましょう。
日時 7月19日(水) 午前10時～11時 30分
対象 未就園児とその保護者20組(先着順)
参加費 300円
所申問 7月14日(金)までに、電話で
市秋穂保健センター(秋穂東6570) ☎083・984・8031

**すくすく秋穂っ子
「おやこたいそう」**

親子で自然の素材を使った工作を楽しみましょう。
日時 7月24日(月) 午前10時30分～正午
対象 4歳から小学2年生までの児童とその保護者15組(先着順)
参加費 300円
所申問 7月14日(金)までに、電話で市
小郡保健福祉センター(小郡下郷60) ☎083・973・8147

**わくわくくらぶ
夏休み親子工作教室**

**ご覧ください
山口市の広報番組
7月の放送予定です**



3コーナーで構成。人やまちの魅力を紹介する、市民参加型の情報番組です。

山口ケーブルビジョン (12チャンネル)

曜日	7/1(土) ～15(土) ①	7/16(日) ～31(月) ②
月・水 金・日	7:35 *12:25 18:05 *22:10	7:35 12:05 18:05 21:50
火・木 土	*7:55 12:05 *18:25 21:50	

※「infoやまぐち」「ごっぼう ええのお～」のみの放送(20分)

「このまちに愛たい」(20分)

- ① 国民文化祭 街からファッション文化を発信!
- ② 「Modulobe」で不思議生物体験!

「infoやまぐち」(10分)

1週間更新で、市からのお知らせを放映

「ごっぼう ええのお～」(10分)

市内のいいモノ、ヒト、トコロなどを「ごっぼう」楽しくご紹介します。



市政のPRから地域情報まで、生活に身近な話題を幅広くお届けします。

山口朝日放送 (YAB)

毎週水曜日午後1時55分から4分間放送
※26日は放送がありません。

- 5日 「旬の味 探しに行きませんか?」
- 12日 「ふるさと歴史散歩 山頭火句碑めぐり」
- 19日 「食生活を見直しま専科」

私たちのまち



主に市政および市からのお知らせを分かりやすくお伝えする番組です。

テレビ山口 (TYS)

毎週日曜日午前11時40分から4分間放送

- 2・9・16日 「街を背景に踊るアーティスト」に会いに行こう!

台風シーズン到来!
23・30日 災害への備えは大丈夫ですか?

ラジオ番組
Radio Program



シティ・インフォメーション

FM山口 毎週月・金曜日の午前9時26分から4分間放送

やまぐちマイタウン

山口放送 (KRY) 毎週木曜日の午後1時40分から5分間放送

汗キラリ 爽快感

小郡公民館をスタート・ゴールに、榎野川の支流に沿った全長約17キロメートルのコースで「あどべん」(小郡ウィークエンドアドベンチャー)サイクリングが行われました。参加したのは小学生50人。長い登り坂では苦しみながらも、ヨモギ茶や野草の天ぷら等の振る舞いを受け、全員無事完走しました。「帰りは10分ぐらいに感じた」と笑顔の参加者もいました。途中では、モリアオガエルの産卵などを観察し、ゴールに戻った子どもたちは、竹で箸を作り、持ち寄ったおにぎりやスタッフの用意したスタミナスープで、ペコペコのお腹を満たしていました。(6月10日)



本番に向けてただいま練習中

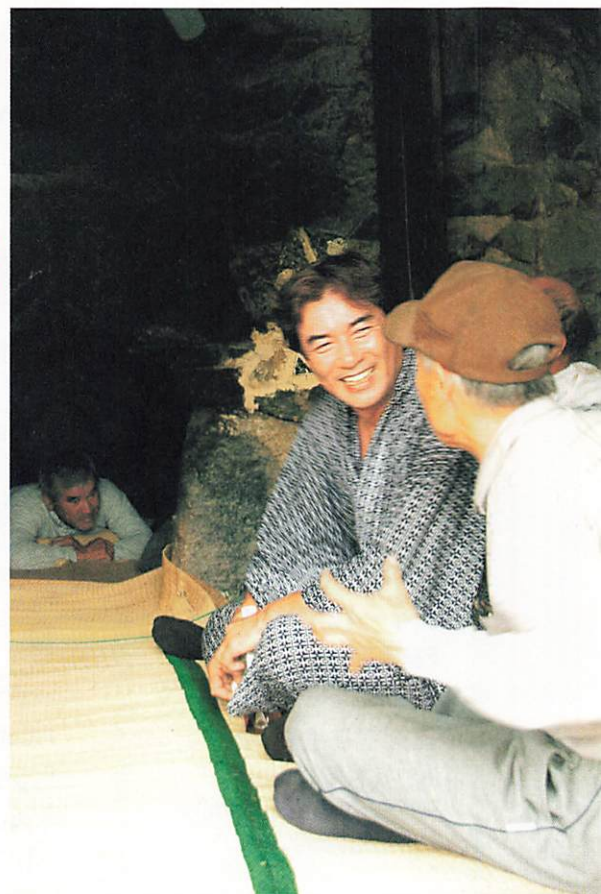
大殿大路の山口ふるさと伝承総合センターで、7月20日からの祇園祭に向けて、祇園囃子の練習が始まりました。2回目の練習となったこの日は、練習初参加の小学生たちが大人に混じって、一生懸命鉦をたたいていました。夕闇の中、山口に夏の訪れを告げるお囃子の音色が響きました。(6月16日)

雨にもマケズ、元気よく

阿知須地域の初夏を彩る「阿知須浦まつり・十七夜祭」が行われました。あいにくの雨模様でしたが、100人程の男衆が引く「踊り曳き山」が町中を練り、華やかな舞いが各所で披露されました。その元気が通じたのか、続く恒例の花火大会では雨もすっかり止んで、4,500発の花火に盛大な歓声が上がっていました。(5月27日)



旅の癒しは石風呂で
俳優の田中健さんが、朝日放送「朝だ！生です旅サラダ」の収録で、徳地の国指定文化財「岸見の石風呂」を訪れました。地元の方から、石風呂の由来や仕組みなどを聞き、石風呂を初体験。その後、地元のみなさんと郷土料理を囲み、和やかな雰囲気の中、話の輪が広がりました。(6月13日)





そうめん流しで夏を先取り
 秋穂総合支所で「そうめん流し」が開催されました。竹を切つて器と箸を作る作業からスタート。慣れない作業に悪戦苦闘する姿も見られました。当日はあいにくの空模様でしたが、そうめんが流れ始めると、雨を吹き飛ばすような元気な歓声が上がリ、一足早い夏の味覚を満喫していました。(5月27日)



二千年の歴史をさわやかハイキング

汗ばむ陽気に恵まれたこの日、阿知須引野地区で「六畳岩二千年回道ハイキング」が行われました。一周約4キロメートルの起伏に富んだ道は、地区の有志のみなさんにより道標やロープが整えられ、2,000年にわたる地域のさまざまな歴史的遺構と併せて、豊かな自然を楽しみながらの山歩きが楽しめます。六畳岩に到着した参加者は、遠く海岸線を見渡す素晴らしい眺望をごちそうに、お弁当をほおばりました。(6月6日)



堂カゴうまくできたかな

徳地地域の串交流センターで「ホタルの夕べ in 串」が開催され、140人を超える参加者で賑わいました。地区の方から手ほどきを受け、麦ワラを編んで作る「堂カゴ」や柏餅など、昔ながらの手作り体験を楽しんだ後、串川へ堂見物に出掛けました。河原にはたくさんの堂が乱舞し、参加者の目を楽しませていました。(6月18日)

祖先の足跡を訪ねて

サビエル生誕500年を記念して、その足跡をたった一人で水上バイクでたどる旅に出ているスペイン人冒険家マリチャールさんが、山口へ到着しました。マリチャールさんは、日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・サビエルの兄弟の子孫に当たり、訪れたサビエル記念聖堂では、市民から熱烈な歓迎を受けました。(6月19日)



イベントカレンダー 7・8月

※開催場所・時間など詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日) イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)

ポール=アンドレ・フォルティエ 野外連続ダンス公演・同関連企画「30×30(サーティー・サーティー)」、「30×30」カフェ(～18日)
山口情報芸術センター (山口) (☎083-901-2222)

企画展 I 「第11回 中原中也賞」(～23日) (山口)
中原中也記念館 (☎083-932-6430)

くらしの中のはかり展(～8月27日) (山口)
市歴史民俗資料館 (☎083-924-7001)

7/1 「くらしと経済山口県大会」 in 阿知須
阿知須総合支所市民課 (阿知須) (☎0836-65-4113)

2 講演会&トーク 川野太郎さんの「わたしの男女共同参画元年」 (山口)
きらめき21事務局 (☎083-934-2867)



7 第4回 山口国際交流芸術祭 「シューマンの生涯をたどる」朗読&ピアノ演奏 (山口)
実行委員会 (☎083-902-7100)

8 史跡「大内氏館跡」発掘調査現地説明会 (山口)
市文化財保護課 (☎083-920-4111)

第4回 山口国際交流芸術祭 「イギリスの音楽特集」コンサート (山口)
実行委員会 (☎083-902-7100)

第4回 山口国際交流芸術祭 映画「ラヴェンダーの咲く庭で」(～9日) (山口)
実行委員会 (☎083-902-7100)

9 フリーマーケット、おもちゃの病院
市リサイクルプラザ (山口) (☎083-927-7122)

16 ちびっこ夏祭り(～17日) (徳地)
重源の郷 (☎0835-52-1250)

おさおりフリーマーケット (小郡)
事務局 (☎083-972-2239)

19 こでまり写真作品展(～23日)
市小郡文化資料館 (小郡) (☎083-973-7071)

20 いつでもアートふる山口 「盛夏の企画展:祭り」(～8月7日)
アートふる山口 大路 Lobby (山口) (☎083-920-9220)

祇園祭 御神幸 (山口)
祇園祭振興会 (☎083-922-0083)



22 第28回 ふしの夏まつり
小郡総合支所経済課 (小郡) (☎083-973-8157)

23 ポール=アンドレ・フォルティエ 新作公演「1×60(ワン・シックスティー)」
山口情報芸術センター (山口) (☎083-901-2222)



24 山口市民総踊り 「やまぐちMINAKOI(みなこい)のんた」 (山口)
実行委員会 (☎083-922-0083)

26 特別企画展「青山二郎と中原中也」(～9月24日) (山口)
中原中也記念館 (☎083-932-6430)

27 祇園祭 御還幸 (山口)
祇園祭振興会 (☎083-922-0083)

29 三和児童館夏まつり (山口)
三和児童館 (☎083-922-7055)

「アンデルセン・プロジェクト」(～30日) (山口)
山口情報芸術センター (☎083-901-2222)

8/6 とくち夏祭り花火大会 (徳地)
徳地商工会 (☎0835-52-0026)

山口セタちようちん祭り(～7日) (山口)
実行委員会 (☎083-932-3456)

山口市長 渡辺紀心

りどくつるげる空間でした。古い町屋の建物を生かしつつ、新しく蘇らせることで、魅力がさらに増したように感じました。このように、市民のみなさんが主体となって、市内の歴史や文化を活用したまちづくりが進むことは、大変心強く感じます。現代に生きる私たちが、市内に息づく歴史や文化に触れ、そして再認識し、まちづくりを生かしていくという流れを大切にしながら、みなさんとともにまちづくりを進めていきたいと思えます。



市政あれこれ

先日、大正大路に市民の創作活動の発表の場を兼ねた「アートふる山口」のテーマ館「大路 Road」がオープンしました。この施設は、大内氏時代から受け継がれてきた歴史が色濃く残る「大内文化特定地域」内の伝統的な木造建築を、地域づくりやまちづくりを活用する町屋再生事業により「NPO法人山口まちづくりセンター」が改修したものです。私も先日見学させていただきましたが、黒光りする柱など歴史を感じさせるたたずまいを残しながら、開放感を備えたゆった